

# みんなで語ろう！考えよう！（地域教育連絡協議会懇談事業・阿佐ヶ谷中学校区）

今回は、阿佐ヶ谷中学校区地域教育連絡協議会（以下「地教連」という。）に参加しました。

今年度第2回となる今回は、講師に松浦隆太郎先生（写真左端）をお迎えし、地教連構成メンバーである教員・保護者・地域住民が語り合う場を設定しました。松浦先生には、「共に生きる社会の教育ビジョン」をテーマに杉並区教育ビジョン2022を踏まえたお話をいただきました。

松浦先生の進行のもと、会は和やかに進んでいきました。ところどころ、ペアやグループで自分の考えを発表し合う機会がありましたが、皆さんが楽しそうに自分の考えを話す様子が印象的でした。共に生きる社会のためには、相手を受け入れることが大切で、そのためには相手の話をしっかり“きく”ことが第一歩であると感じました。「傾聴と承認」は安心・安全な場をつくり、そこからコミュニケーションが広がるという話を伺い、安心・安全な場づくりが共に生きる地域・社会づくりに重要であると感じました。

松浦先生のお話にあった3つのポイントは、以下のようなものでした。

## ポイント① 共生社会

YouTube動画「心のバリアフリーについて学ぼう」を視聴。「あたりまえ」を見直すことで、多面的に物事を見ることを心がける。自分の知らないこと、分からないことに対して無意識に差別的になっているのではないか。まずは相手をよく知ること、相手の求めを把握し、それに応えること。自分にできる範囲の協力をしよう。

一人でなんとかしようとしなくていいことも大切。

## ポイント② ファシリテーション

子どもも大人も誰もがその人なりの力をもつ存在であることを踏まえ、個々の力を発揮できるような話し合いをするための技術がファシリテーション。

互いの考えを表現し合い、違いを認めつつも、それぞれの考えを調整し、新しい価値を創造する。そのためにも安心・安全な場での対話を大切にしていきたい。

## ポイント③ キャリア発達支援（キャリア教育）

キャリア発達とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、「自分らしい生き方」を実現していく生涯にわたる発達の過程である。安心・安全な場で自分らしく生きていく過程で、学びの成果は学業に限らず、互いに贈り合うことができる。子どもも大人も学びを贈り合う機会は意外と近くにあるのかもしれない。



御自身の経験を基にした専門的なお話から身近なエピソードまで幅広い視点で御講義いただきました。意見交流もたくさんでき、あっという間の懇談会でした。

ペアやグループで話をしても、やはり人それぞれ様々な思いがあります。ただ、そういった様々な思いを安心して表現できる、伝えることができる場が必要であると改めて感じることができました。

多世代が一緒になって話ができるって楽しい。自分の生活にも通じる学びがあった。



自分の話を聞いてもらい嬉しかった。聴いて承認しあうことは子育てに生かせる。



今日学んだ安心・安全な場が広がって、みんながしあわせになるといいなと思った。



参加者全員で視聴した動画はこちらから！



企画・著作  
内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局